

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課	■担当係	芸術文化係
■評価事業名称	「おかあさんの詩」全国コンクール実行委員会事務		
■事業開始年度	平成9年度		
■評価事業コード	090200 - 110	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	01 芸術文化活動の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画(平成28年度～平成30年度)		
■事業の目的と概要	サトウハチロー氏の業績を永く顕彰するため、「母」への思いをテーマにした詩を全国から募集し、詩を通じた心の教育及び文化交流の促進を図る。事務局業務□当該事業の企画立案、広報周知□応募作品の受付整理及び集計□実行委員会及び企画部会の開催□審査会及び記者会見の開催□予算執行□表彰式の準備、実施		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	「おかあさんの詩」全国コンクール実行委員会事務	実行委員会	実行委員会・企画部会・審査会開催 表彰式(10/28)開催 入賞作品集作成等	実行委員会開催5回 、企画部会開催5回、 審査会開催1回、表彰式開催1回、入賞 作品集作成1,000部、表彰式チラシ作成 配布2,000枚、表彰式プログラム作成配 布800部

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	239	75	73	80	
人件費	5,303	5,585	6,082	4,807	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,542	5,660	6,155	4,887	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	会議開催回数	6回	6回	6回	5回	
02	応募都道府県数	32	30	26	28	47都道府県と外国からの応募県(国)数。平成29年度は外国からの応募なし。
03	応募作品数	3600	3711	3259	2969	平成24年度から応募対象を20歳以下に変更

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

海外を含め広く作品の募集を行い、全国26都道府県より応募があった。開彰式では市内幼稚園児や市内小中高校生が出演し、子供達の活躍する舞台を作り上げることができた。

### 問題点・課題等

応募数が290編減少した。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

今後も詩を通じた心の教育及び文化交流の促進を図っていく。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了